



天理方面

龍王山

天理・中山麩寺
0.7Km

岳寺
0.3Km

崇神天皇陵・桜井
1.1Km

東海自然歩道

奈良県

類が平和でありますように

PREVAIL ON EARTH

大和青垣町立公園

奈良県



下馬

下馬の
歴史
資料館



の礎
ツヨク





卑弥呼の里



長岳寺

Chogakuji Temple

100m

中山大塚古墳

Nakayama Otsuka Buried Mound



500m













橋本入麻呂

金道乎

引手乃山京

妹乎置乎

一經往者

坐跡毛無

孝書

桜井・長岳寺

0.8Km



衾田陵・天理

0.8Km

三の沢の道

東海自然歩道

奈環



奉祝

悠仁親王殿下御誕生

お健やかなご成長をお祈り申し上げます

齒定神社
天仁天皇御誕生
御誕生
西暦十一月十五日

中山大塚古墳

(築造時期 古墳時代初頭)

中山大塚古墳は、萱生町と中山町の一带に展開する大和(おおやまと)古墳群中の南側に位置する前方後円墳です。標高約90メートルの尾根上に前方部を南西に向けて築かれており、前方部付近には大和神社のお旅所がおかれたために削平を受けています。古墳の規模は、全長約132メートル、後円部径約73メートル、後円部の高さ約11メートルを測ります。

1985年以降、1994年までの学術調査の結果、墳丘表面が葺石で覆われ、後円部に2段、前方部に1段の段築による築成であることが知られています。

また、外部施設として西側くびれ部に作られた三角形の張り出し部と後円部北側の張り出し部があり、いずれも古墳への通路的な施設と考えられています。

埋葬施設は、後円部墳頂の中央に墳丘主軸に沿って築かれた^{たてあなしきせきしつ}竪穴式石室が見つかっており、長さ7.5メートル、天井までの高さ約2メートルの規模をもちます。なお、石室の南北両小口は隅に丸みをもつように石材が積まれています。石室の石材は大阪府羽曳野市と太子町に位置する春日山で採取された^{ひせきあんざんがん}輝石安山岩が使用されています。

出土遺物では、銅鏡片2点、鉄器36点などが石室内より見つかりましたが盗掘が石室内全体におよんでいたため細片化したものがほとんどでした。銅鏡は^{にせんしきんきょう}二仙四禽鏡で、鉄器には鉄槍、鉄鎌などがあります。

ほかに、墳頂部からは土器のほか、特殊壺形埴輪、二重口縁壺系の埴輪、特殊円筒埴輪、特殊器台形土器、特殊壺形土器などが出土しており、埋葬主体部を囲うように樹立していたものと考えられています。

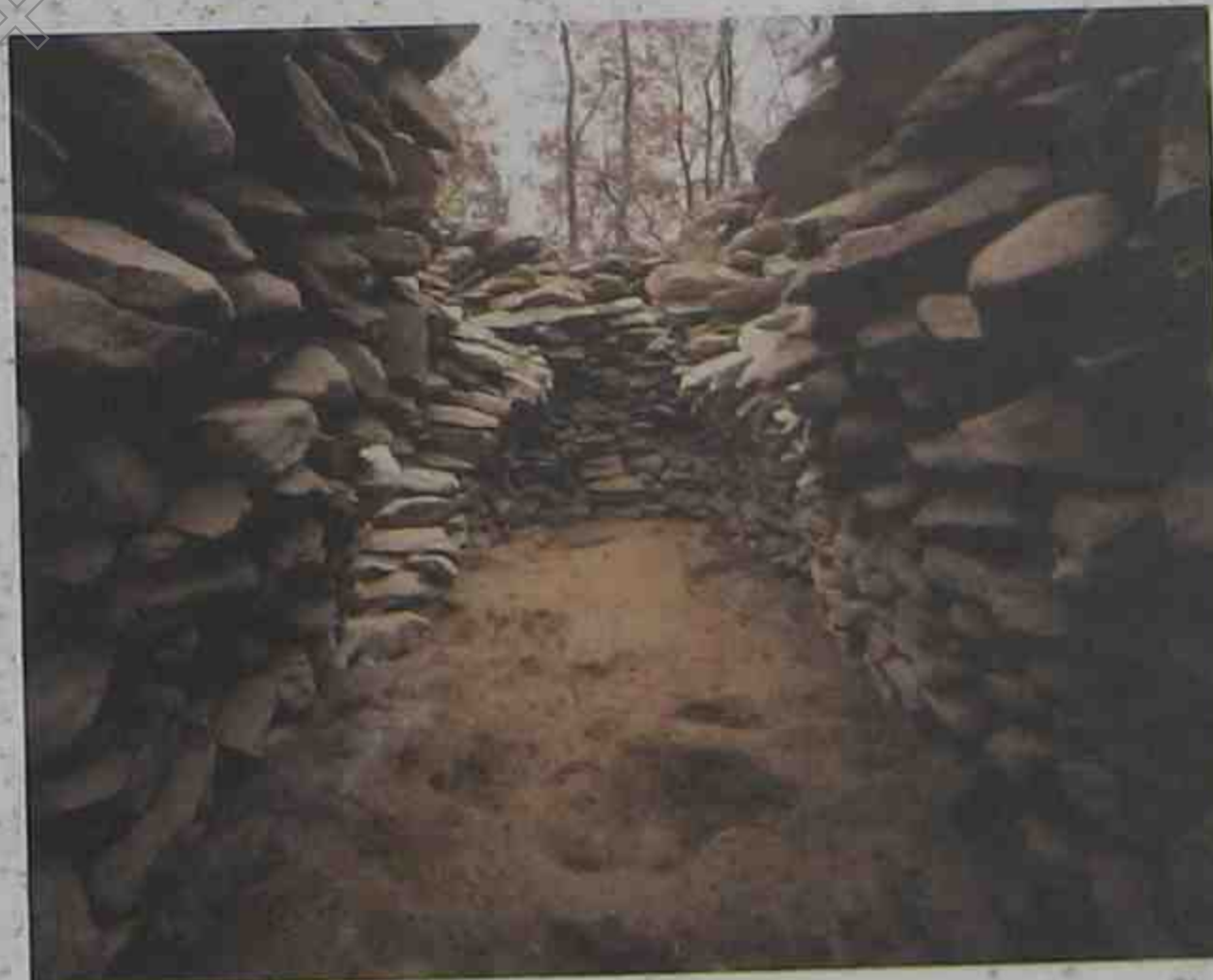
これまでの発掘調査の成果から、当古墳の墳丘は戦国時代の山城として再利用されていたために若干改変され、現状の墳丘形状が築造当初のものでないこともわかっています。しかしながら、石室や墳丘構造、あるいは埴輪などに認められるそれぞれの初源的な要素から、当古墳が前方後円墳の築かれ始めたころの古墳であると判断されています。



上空から見た中山大塚古墳



後円部墳頂の埋葬施設



竪穴式石室内部の石積み



墳丘西側くびれ部の基底石

1999年8月 天理市教育委員会

(2008年3月改訂)

大塚山念佛寺



中山廃寺

0.1Km

天理 衾田陵

0.6Km

山の辺の道

東海自然歩道